

ドクガに注意してください

6月30日以降、荒浜・松波・西中通地区などにおいてドクガが大量に発生し、かゆみや炎症などの症状が出ているという情報が寄せられています。

ドクガ類のドクガやチャドクガは毒針毛（どくしんもう）を持っており、かゆみや炎症を起こします。今回の大量発生は主にドクガによる被害と考えています。しかし、チャドクガの発生も考えられるため、これらの幼虫や成虫を見かけたらご注意ください。

ドクガの特徴を教えてください？

【ドクガ】

- ・ 幼虫（毛虫）の体長は約40mm、サクラ・クヌギ・ウメ・バラなどの植物に発生します。
- ・ 成虫（蛾）の体長は約30mm、濃黄色で年に1回6月～7月に発生します。



【ドクガ幼虫】



【ドクガ成虫】

【チャドクガ】

- ・ 幼虫（毛虫）の体長は約25mm、茶・サザンカ・ツバキなどの植物に発生します。
- ・ 成虫（蛾）の体長は約25～30mm、メスは黄色、オスは黒褐色で年に2回6月～7月と9月～10月に発生します。



【チャドクガ幼虫】



【チャドクガ成虫】

どのような被害がありますか？

- ・ドクガやチャドクガは、幼虫・卵・サナギ・脱皮殻・成虫すべての段階で毒針毛（どくしんもう）を持っています。
- ・毒針毛は0.1mmほどの長さで、これに触れると皮膚炎を発症し、激しい痒（かゆ）みを引き起こし、2～3週間続きます。
- ・ドクガなどに直接触れなくても、風で飛散した毒針毛で皮膚炎を起こすこともあります。

毒針毛に刺されたらどうすればよいですか？

- ・触れたと思う箇所に粘着テープを貼り毒針毛を除去し、流水でよく洗い流してください。
- ・手でこすったり、搔（か）いたりすると、症状を悪化させます。
- ・症状がひどい場合は、医師の診断を受けましょう。

駆除はどうすればよいですか？

【幼虫（毛虫）を見かけたら】

- ・幼虫がまだ小さくかたまっているうちに、箸でつまんで捨てるか、枝ごと切り取って除去します。除去した幼虫は、ビニール袋に二重に密封し燃やすゴミとして、指定のごみ袋に入れて出してください。
- ・幼虫が大きくなり樹木全体に広がった場合は、殺虫剤を散布してください。なお、殺虫剤を散布する時は、周辺の住民等に周知を行ってください。
- ・駆除は、風のない時に長袖・長ズボン・ゴム手袋などを着用し、肌が露出しないように行ってください。
- ・死骸にも毒針毛があるため注意をしてください。

【成虫（蛾）を見かけたら】

- ・成虫の効果的駆除方法はありませんが、飛んできた場合は、とまったところを濡らした新聞紙などで取り押さえ、押しつぶして捨ててください。
- ・追い回したり、殺虫剤をかけたりすると、あばれて毒針毛をまき散らします。
- ・夜間、成虫は照明に集まるため、窓には網戸を設置したり、建物に飛んでくる場合は殺虫剤を外壁や窓枠などに塗布して忌避させてください。

発生を予防するにはどうすればよいですか？

- ・早い段階で樹木の剪定を行い、風通しをよくしてください。
- ・幼虫（毛虫）だけでなく卵の発生時期（7月～8月）に建物や葉の裏に付着していないか観察してください。
- ・現在、卵は家の外壁や葉の裏などに産み付けられているので、発見したらはぎ取って燃やすゴミに出してください。



【ドクガ卵】

《お問い合わせ先》

市民生活部環境政策課環境保全係

電話：21-2299 FAX：24-7714

Eメール：kankyou@city.kashiwazaki.niigata.jp